

令和5年度

自己評価表

専門学校日本動物21は、高等教育機関として在学生在がより良い教育を受けることができるよう学校運営、教育活動について常に改善を図り、教育の質の向上と保証を図るために自己点検・自己評価を行いました。以下に令和5年度の結果を報告いたします。

1. 学校法人立志舎の沿革

- 1979年 東京IT会計専門学校が学校法人として新たにスタート。コンピュータ教育を導入。
- 1981年 全国高等学校簿記選手権大会を学園が主催。第4回大会から文部省の後援を頂き、簿記の甲子園として広く親しまれる。
- 1983年 公認会計士試験、税理士試験に専門課程在學生から全国最年少合格が誕生。
日本の専門学校で初めて公務員コースを設置。1年目に早くも151名の現役合格者を輩出。
- 1988年 情報管理学科を設置。情報処理分野の国家・検定試験においても次々と快挙を成し遂げる。
- 1989年 大阪IT会計専門学校、大阪法律専門学校開校。
- 1990年 日本スクールオブビジネスが開校。マルチメディア、スポーツ、トラベル、医療などの総合ビジネス学園として、新たな一步を踏み出す。
- 1993年 公認会計士試験11年連続専門課程現役合格達成。
- 1994年 東京法律専門学校より、司法試験史上初の専門学校生現役合格者が誕生。
- 1995年 専門課程在學生から経済産業省ソフトウェア開発技術者試験79名、基本情報技術者試験462名現役合格。情報処理分野においても名門の地位を確立。
- 1996年 経済産業省において、25歳未満の人が受験できる最上級レベルの経済産業省テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験に専門課程在學生から2名の現役合格者を輩出。
- 1997年 東京IT会計専門学校杉並校、東京法律専門学校杉並校、東京IT会計専門学校名古屋校、東京法律専門学校名古屋校開校。
- 1998年 日本スクールオブビジネス21、東京IT会計専門学校仙台校、東京法律専門学校仙台校開校。
公認会計士試験、税理士試験において専門課程在學生から全国最年少合格を輩出。
- 1999年 東京では11年ぶりの私立の新設高校として、立志舎高等学校を開校。
専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2001年 簿記大会にIT部門を新設。全国高等学校IT・簿記選手権大会となる。
- 2002年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格。さらに、IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2003年 専門課程在學生から司法試験現役合格。東京IT会計法律専門学校横浜校、東京IT会計法律専門学校大宮校開校。専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2004年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格(3年連続)含め6名現役合格。公認会計士試験、経済産業省情報セキュリティアドミニストレータ試験、テクニカルエンジニア(ネットワーク・データベース)試験、ソフトウェア開発、基本情報技術者試験等IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2005年 京都IT会計法律専門学校、大阪IT会計専門学校天王寺校、大阪法律専門学校天王寺校開校。

- 2006年 日本動物専門学校、専門学校日本動物 21 開校。全国高等学校 IT・簿記選手権大会に FE 部門を新設。
 専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。
- 2007年 東京 IT 会計法律専門学校千葉校、大阪動物専門学校開校。
- 2008年 専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。経済産業省高度情報処理技術者試験に 34 名現役合格等の合格実績をあげる。大阪動物専門学校天王寺校開校。
- 2009年 名古屋動物専門学校開校。経済産業省高度情報処理技術者試験に 36 名現役合格等の合格実績をあげる。
- 2010年 国税専門官試験 26 年連続現役合格達成。
- 2014年 立志舎グループの各校が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」設置校になる。
- 2020年 立志舎グループの各校が高等教育の修学支援新制度の対象校として認定される。
- 2022年 専門学校日本動物 21、日本動物専門学校、名古屋動物専門学校、大阪動物専門学校、大阪動物専門学校天王寺校が、愛玩動物看護師法（令和元年法律第 50 号）第 31 条第 2 号に基づく愛玩動物看護師養成所の指定を各都府県知事から受ける。
- 2023年 公認会計士試験現役合格 31 名、税理士試験現役合格 4 名
 法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来 17 年連続現役合格
 経済産業省高度情報技術者試験（データベース・ネットワーク・情報処理安全確保支援士・プロジェクトマネージャ）現役合格 41 名
 応用情報技術者試験現役合格 83 名
 基本情報技術者試験現役合格 415 名
 総合旅行業務取扱管理者試験現役合格 23 名
 国内旅行業務取扱管理者試験現役合格 103 名（入学後半年合格 89 名）
 国家公務員一般職（大卒程度）・地方公務員上級・中級等現役合格 1,006 名、
 公務員初級等現役合格 4,884 名／警察官・消防官・自衛官現役合格 3,132 名
 （2023 年 3 月卒業生 高校卒業生対象専門課程／一次筆記合格のべ）
 民間企業就職率 99.47%（2023 年 3 月卒業生 高校卒業生対象専門課程）

2. 学校の教育目標および特色

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。

本学の特色は、独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入していること。また、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け、動物業界のみならず異業種企業や公務員として就職していることである。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
ロ.学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
ハ.理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
ニ.各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって学校運営に取り組んでいる。

開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入しており、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、動物系企業をはじめとする民間企業への就職実績が両立している。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
ロ.運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
ハ.人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
ニ.教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
ホ.教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
ヘ.情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

検定試験、民間企業就職等においてさらなる実績をあげていく必要がある。

学校運営に必要な人材の確保と育成。

② 今後の改善方策

ゼミ学習を活発化させる。

学校運営に必要な人材の確保と育成を目的としたプロジェクト委員会を中心に、今後も改善を行っていく。

③ 特記事項

本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学校づくり」が実現している。

学務システムは仮想プライベートネットワーク (VPN 網) を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、学生に対しては Microsoft アカウントを付与し、オンライン授業等行える環境を整えている。情報共有の効率化並びに業務改善に取り組んでいる。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
ロ.教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
ハ.学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
ニ.キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
ホ.関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
ヘ.授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
ト.成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
チ.資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
リ.人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
ヌ.職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

業界の人材ニーズは、今後も常に把握していかなければならない。

「愛玩動物看護師法」の成立に伴い、令和4年度から動物看護学科3年制を新設し、愛玩動物看護師養成所として指定認可を受けた。今後は、社会が期待する以上の愛玩動物看護師を育成していかなければならない。

他の高等教育機関の科目との単位互換性の基準を検討し、規定する必要がある。

② 今後の改善方策

教員は様々な研修に参加しなければならない。

シラバス、年間スケジュール、カリキュラムに沿った授業を行い、動物病院の病院長、動物看護師(愛玩動物看護師)からの意見を聴取しながらそれらを精査していく。

獣医学部との単位互換を検討する。

③ 特記事項

学生は、学内就職セミナー等で希望する会社の人事担当者から「企業が求める人材像」などの話を直接聞くことができる。

「愛玩動物看護師法」の成立に伴い、令和4年度から動物看護学科3年制を新設し、愛玩動物看護師

養成所として指定認可を受けた。

本学の授業は開学以来、「ゼミ学習」を採り入れており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性をも涵養している。

例年実施する新入生就職セミナーでは、挨拶の練習、学生と社会人の違い、事例研究等を通じ、社会人に向けての意識付けをしている。1年次には、約1週間のインターンシップを企業等と連携し行っている。

学生相談室では学生ばかりでなく、保護者からの質問や相談も受け付けている。匿名の電話にも応じ、気兼ねなく質問や相談ができる体制を敷いている。

今年度における各校見学会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

令和元年度より GPA 算定をするため、システムを改修し導入した。GPA の算定については、ホームページ上にも公開している。

在学期間中限定で使用できる Microsoft365 の ID を配布し、Teams を利用したオンライン授業も行える教育サポート体制を整えている。

今年度における学内就職セミナーは、令和6年2月28日、29日に開催した。

(4). 学修成果

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ロ.資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ハ.退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

最近の退学理由として経済的理由や精神面での理由が増加しているため、それについての対策を検討する必要がある。

② 今後の改善方策

退学のおそれがある学生、学業に悩みがある学生等を早期に見出し、その学生には担任から働きかけその原因を取り除き解決に導く等の指導をしている。また、各担任は自身のクラス状況を日々把握するために日常コミュニケーションチェック表を記入し、定期的に学生とのコミュニケーションの状況を振り返っている。

③ 特記事項

例年、新入生就職セミナーをはじめ、進路決定のための就職・公務員ガイダンス、学内就職セミナー、インターンシップを行っている。学内就職セミナー等には多数の企業等に参加していただいている。

コース毎に目標とする資格を明確にし、過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立て、ゼミ学習で授業を進めている。その結果が成果としてあらわれている。また、学園内各校と定期的に合格率向上を図るための会議を開いている。

退学者を出さないように常に担任が学生に声をかけるようにし、その状況を日常コミュニケーションチェック表に記録している。学生が学校に来ることが楽しくなるように担任が心がけている。また、ゼミ学習を通し友人を作れるように気を配っている。

担任以外にも相談ができるように学生相談室を設置し、匿名で電話相談ができるようにしている。無断欠席の学生には担任から電話連絡し、長期欠席の学生が出ないように努力している。

今年度における学内就職セミナーは、令和6年2月28日、29日に開催した。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ロ.学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
ハ.学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ニ.学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
ホ.課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ヘ.学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
ト.保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
チ.高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

専任カウンセラーがない。

同窓会が組織化されておらず、学校を訪ねてきた卒業生には、助言、指導を行うが、フォローアップ体制ができていない。

② 今後の改善方策

現在は必要に応じて学校医と連絡をとっているが、専任カウンセラーの導入を検討する。

同窓会の組織化、卒業生へのフォローアップ体制整備を検討する。

③ 特記事項

学生の希望に沿ってインターンシップを実施している。これにより、ペットサロン、動物病院、ペットショップ、犬の訓練所をはじめ動物業界の就職先開拓につながっている。民間就職支援ポータルサイトを活用することで、求人票のリアルタイムの閲覧、エントリーの一元化、就職部と学生の連絡手段の新設により学生が就職活動をスムーズに行えるようにしている。

学生相談室は、匿名の電話にも応じている。日常コミュニケーションチェック表を用いて、学生の様子を毎日記録している。

本学の特別奨学生試験や各種特待生制度は、貸与ではなく給付である。

校舎入り口、教室、廊下、トイレに消毒剤などを設置することで、各種感染症の予防を行っている。また、インフルエンザが流行する時期は、インフルエンザ等罹患状況報告書により罹患状況を把握し、感染拡大防止のための措置（学級閉鎖など）を行っている。

学内就職セミナーは、令和6年2月28日・29日に開催した。

保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
ロ.学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
ハ.防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

教育内容のさらなる充実のため施設・設備の整備を検討する。
 パソコン以外の施設・設備の更新計画を立てることを検討する。
 災害時対応のみならず、不審者対応も含む危機管理マニュアルに変更・作成し、対応する。法令に準拠して、見直していく。
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した、海外ペット研修については、実施できる方法を検討する。

② 今後の改善方策

校舎営繕および、獣医療器材、トリミング機材の整備を順次行っていく。
 災害時対応のみならず、不審者対応も含む危機管理マニュアルに変更・作成し、対応する。法令に準拠して、見直していく。
 海外ペット研修については、学園全体での同時実施ではなく、学校単位、クラス単位での実施や人数制限を行うことで実施することを検討する。

③ 特記事項

校内のWi-Fi環境を整備し、学生たちに快適なインターネット環境を提供している。
 海外ペット研修については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため計画休止中である。
 危機管理マニュアルを法令に従って見直していく必要がある。

(7). 学生の受け入れ募集

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ.学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
ロ.学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
ハ.学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

志望者の問い合わせに対して、今後もいろいろなメディアが出現すると予想されることから、そのメディアに沿った問い合わせにも対応していく。

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

入学定員を満たすことができた。
 本学のホームページは、スマートフォンへの対応も行っているため、スムーズに情報が入手できる。
 また、ブログ、LINE、X (旧 Twitter)、Facebook、YouTube、Instagram を利用した情報提供を行っている。
 オンラインによるオープンキャンパスや個別相談会を行っている。
 AO入学に関しては本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学の理解度、今後のやる気を中心に可否の判定を行っている。
 留学生に関しては専門の職員を置き、留学生全員に書類選考と併せて日本語筆記試験、作文試験、面接試験を行い日本語能力、経費支弁能力、日本語学校の出欠席などをもとに入学選考を適正かつ公平に

行っている。

法人単位での財務情報の公開体制を採っており学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。

(8). 財務

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。

(9). 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
ロ.個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
ハ.自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1
ニ.自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

定期的に情報セキュリティ研修を実施する必要がある。

② 今後の改善方策

定期的に情報セキュリティ研修を実施し、継続する必要がある。

③ 特記事項

法令遵守推進管理者をおき、法令遵守規程に基づき法令遵守の推進を図っている。また毎年、外部講師を招いて人権研修を実施している。今年度は令和6年2月21日（水）に受講した。

学生の個人情報を利用する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た上で、個人情報を取り扱っている。しかし、定期的に情報セキュリティ研修を実施する必要がある。

自己評価表はホームページに公開するとともに、学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、その結果もホームページに公開している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
ロ.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
ハ.地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

① 課題

学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施していく必要がある。

動物の殺処分減少のための活動に取り組んでいく。

② 今後の改善方策

学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施し、地域との連携をさらに強化する。

動物の殺処分減少のためのボランティア活動を、東京都動物愛護センター、さいたま市動物愛護ふれあいセンター、公益財団法人神奈川県動物愛護協会などとの連携が可能かどうかとも検討していく。

③ 特記事項

墨田区という下町に位置する学校としては、特に地域住民との交流が大切であると考えている。お祭りの参加、地元で開催するイベントへの参加など、学生を中心とした地域交流を積極的に行っていく。

公益財団法人東京都公園協会と連携し、地元の都立白髭公園において「学生による犬のしつけ方教室」を実施。都立汐入公園において「学生による無料トリミング」を実施した。また、獣医師向けの勉強会の開催場所の提供や犬猫の譲渡会を校内で行った。今後もこうした活動を教員、学生と共に地域住民と交流を図ることにより、社会貢献につなげていく。

今年度は、SUMIDA BLOCK FESTIVAL にも参加した。

TAC株式会社と簿記チャンピオン大会を共催し、学生・高校生が全国レベルでの習熟度合いの確認および簿記のスキル向上を図り、職業会計人を目指せる場を設けている。